



2019年11月27日

株式会社岩手銀行  
いわぎん事業創造キャピタル株式会社

## 「いわぎん農業法人投資事業有限責任組合」による投資について

株式会社岩手銀行（頭取 田口幸雄）と、いわぎん事業創造キャピタル株式会社（代表取締役社長 稲垣秀悦）は、株式会社日本政策金融公庫と共同で組成した「いわぎん農業法人投資事業有限責任組合」の投資先として、施設野菜栽培を新たに開始する株式会社八幡平スマートファーム（以下「八幡平スマートファーム」本社：岩手県八幡平市、代表取締役社長 兒玉則浩）に出資を行うことを決定しました。また、八幡平スマートファームに対しては同ファンドからの出資の他、株式会社岩手銀行、株式会社日本政策金融公庫からも融資を実行しております。

八幡平スマートファームは岩手県八幡平市の松川地熱発電所から発生する温水を活用した「IoT次世代施設園芸地熱温水ハウス」を12棟建築し、水耕栽培によるバジル栽培を開始する予定です。八幡平市高石野団地にて長年未活用となっていた熱水ハウスの再生を果たすとともに地域資源である地熱を活用することでサステナブルな農業を実現する取組であり、「いわぎんグループSDGs宣言」の趣旨にも合致し、今後の事業の成長が期待できることから、今回出資を決定しました。

### 記

#### 1. 投資決定先の概要

企業名	株式会社八幡平スマートファーム
代表者	代表取締役社長 兒玉 則浩
本社所在地	岩手県八幡平市大更第35地割62番地
設立	2019年1月
事業内容	施設野菜栽培（バジル水耕栽培及び販売）
投資額・方法	5,000万円・無議決権優先配当株式引受
企業の特徴	<p>八幡平スマートファームは、2019年1月に調印された八幡平市との「企業立地協定書」に基づき、事業拡大を目指すバジル生産農家として設立された会社です。</p> <p>施設内では縦型水耕栽培を採用することで高い生産性を実現するとともに、IoTの活用により施設内の温度や湿度、養液等を自動制御するスマート農業を実践します。</p> <p>また、松川地熱発電所から発生する温水を利用した熱水ハウスを利用することで未活用ハウスの再生と自然エネルギー利用による持続的な農業の実現を目指しています。</p>





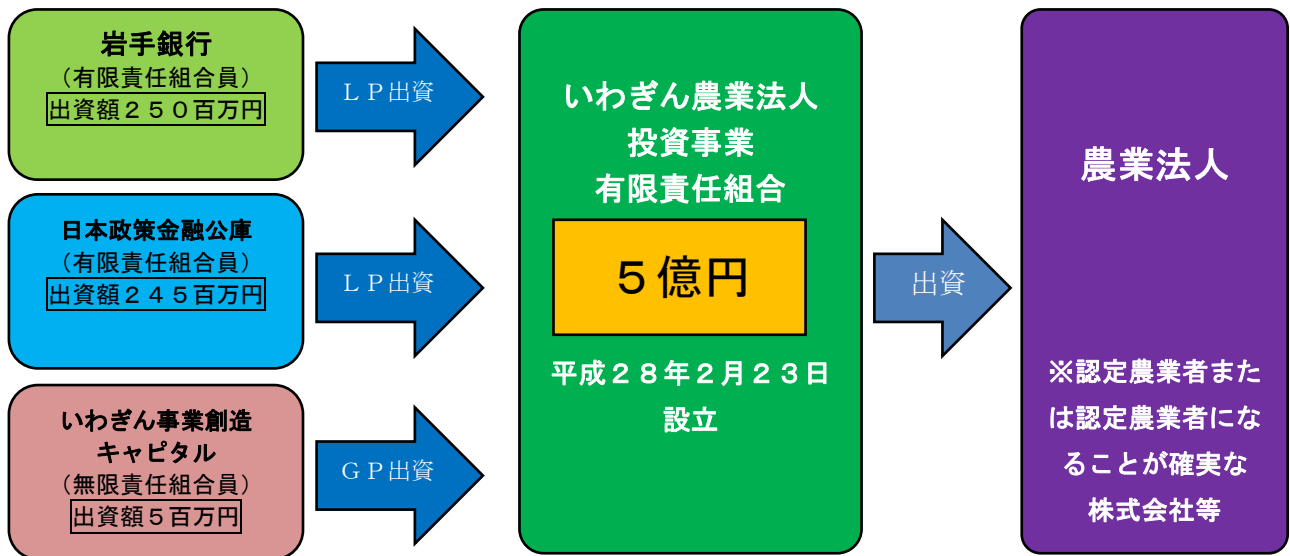
# IWATE BANK NEWS LETTER



## 2. ファンドの概要

名 称	いわぎん農業法人投資事業有限責任組合
設 立 日	2016年2月23日
ファンド規模	5億円
出 資 者	無限責任組合員：いわぎん事業創造キャピタル株式会社 有限責任組合員：株式会社岩手銀行 株式会社日本政策金融公庫
運 営 期 間	約15年
投 資 対 象	岩手銀行営業エリア内の認定農業者または認定農業者として認定を受けることが確実な農業法人で、株式会社（特例有限会社を含む）形態の組織

## 3. ファンドのスキーム図



以 上

<本件に関するお問合せ先>

岩手銀行法人戦略部 齋藤・吉田 TEL: 019-624-7016  
 いわぎん事業創造キャピタル 高橋 TEL: 019-621-1470

